

収	が	所	差	得	つ	え	布	現	営	と	共	ま	た		え	ど	か	で	
は	社	得	を	が	た	て	一	で	、	え	サ	ざ	し	ま	て	、	せ	あ	税
社	会	に	緩	高	た	い	と	き	学	ば	ー	ま	ま	ず	い	ま	ま	り	金
会	に	応	和	い	め	ま	し	ま	校	、	ビ	な	す	。税	ま	金	せん	、	は
保	還	じ	し	人	の	す	て	せん	や	道	ス	税	。所	金	。税	は	。の	国	、
障	元	て	ま	ほ	ツ	。ま	、	。税	病	路	や	金	得	は	私	た	の	運	私
制	す	段	す	ど	ー	た	誰	金	院	や	イン	が	税	国	ち	ち	道	営	た
度	る	階	。日	高	ル	、	も	は	の	橋	フ	国	、	の	の	路	路	や	ち
を	役	的	本	い	で	税	が	社	維	の	ラ	民	消	財	生	の	整	公	の
通	割	に	では	税	。累	金	恩	会	持	建	整	や	費	源	活	整	備	共	社
じ	を	上	、	率	進	は	恵	全	は	設	備	企	税	を	を	、	、	サ	会
て	果	が	所得	で	課	社会	を	体	、	、	に	業	、	確	さ	学	ー	を	支
高	た	る	、	課	税	の	受	の	税	公	使	か	法	保	ま	校	ビ	え	え
齢	し	設計	所得	税	制度	公平	ける	一	金	共	われ	ら	人	する	ま	教育	ス	る	重
者	ます	、	税	、	では	性	仕	共	が	交	ます	め	税	役割	ま	、	の	提	要
や	。こ	富裕	率	所得	、	を保	組	有	な	通	。た	られ	な	割を	な	医	提供	に	基
障	の税	層	が	格	所		み	の	け	機	。公	、	ど	を	形	療	欠	基	盤
害							を	財	れ	関	運	公	、	果	で	な			
者							支		実	の			さ		支				
、																			

失業者などを支え、社会の安定を保ちます。	税金は単なる「お金集め」ではなく、公正な	社会を築く仕組みなのです。	しかし、税金には課題もあります。まず、	税負担の公平性が問題視されます。消費税は	所得に関係なく一律に課税されるため、低所得者にとつて負担感が大きいと指摘されています。	ます。たとえば、年収二百万円の人と二千万円の人が同じ商品を買う場合、消費税は同じですが、低所得者には影響が大きくなっています。	まいます。このため、軽減税率や給付金などの対策が議論されます。たま、グローバル化に伴い、大企業がタックスヘイブンを使っているのを回避する問題も深刻です。一方で、中小企業や個人事業主は重い税負担を強いられる	ており、不公平感が生じます。さらに、税金の使い道に対する国民の信頼も重要です。税金が無駄遣いされたり、政治家の不透明な資金運用が問題になると、国民の納税意欲が低下します。政府は税金の用途を透明化し、説
----------------------	----------------------	---------------	---------------------	----------------------	---------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

					未	正	り	意	題	社	へ	な	医	為	来	責		明	予	明
					来	な	良	義	も	会	の	が	療	で	の	任	税	性	算	責
					へ	税	い	を	多	を	投	り	に	す	世	で	金	を	の	任
					の	制	社	理	く	支	資	ま	使	°	代	す	は	高	公	を
					第	を	会	解	あ	え	一	す	わ	た	や	°	、	め	開	果
					一	追	を	し	り	、	と	°	れ	と	他	納	私	る	や	た
					歩	求	築	、	ま	公	掬	税	る	え	の	税	た	取	市	す
					と	す	く	使	す	平	え	金	税	ば	人	は	ち	り	民	必
					な	る	こ	途	°	性	る	を	金	、	々	自	が	組	参	要
					る	こ	と	に	国	を	こ	一	は	子	を	分	社	み	加	が
					で	と	が	関	民	実	と	負	、	ど	支	の	会	も	型	あ
					し	が	で	心	一	現	が	担	社	も	え	生	の	進	の	り
					よ	、	き	を	人	す	大	一	会	の	る	活	一	ん	予	ま
					う	持	ま	持	ひ	る	切	で	全	教	と	だ	員	で	算	す
					°	続	°	つ	と	柱	で	は	体	育	も	け	と	い	編	°
						可	透	こ	り	で	°	な	の	や	重	で	し	成	な	近
						能	明	と	が	す	税	一	繁	高	要	な	果	°	ど	年
						一	で	、	税	、	社	社	栄	齢	な	、	た		、	は
						な	公	よ	金	課	会	会	に	者	行	未	す		透	、